～新型コロナウイルスについて～

ＮＯ　１２
Ｒ２．６．１

マスク外す必要も！熱中症注意

・屋外で人と十分な距離を確保できる場合はマスクを外す。
・状況に「応じ周囲の人とじゅうぶんな距離を取り、マスクを外し休憩をする。
・マスクを着用する場合は、負担のかかる運動や作業は避ける。

この時期は、感染症対策を講じながら熱中症に対する予防を取らなければいけないため、高温多湿でのマスク着用は体に負担がかかる。上手にマスクを着用する。

北九州市小学校でクラスター

児童1人の感染が確認されていた守恒小（小倉南区）でクラスメート4人の感染が新たに判明クラスター（感染者集団）が発生したとみている。

感染拡大の防止策

・健康状態を記入したチェック表を提出。
・必要な場合は入り口で検温。
・登校時の健康確認や児童同士の距離が縮まらないよう対策。

先月２８日に感染判明した女児
先月２７・２８日　自宅での検温３７℃台
学校の入り口　　３６℃台　授業に参加

先週木曜日感染確認　　３０代母親　・　１０代児童（軽症で入院中）
小学校でクラスター　　↓
昨日感染確認　　**１０代児童４名（全員無症状）**

市立小中学校を再開したばかりだった。小学校でのクラスター発生は珍しいという。
他に**中学生2人の感染も判明した。感染経路不明は2人。**
【関連】無症状で登校、手打てず…悩む学校　北九州でクラスター
市によると、守恒小の4人は28日に感染が確認された女子児童と同じクラス。いずれも10代で女子3人、男子1人。**全員が無症状という。**守恒小は29日から休校中で、市は感染経路などを重点的に調べる。
在校生が感染していた企救（きく）中（同）と思永中（小倉北区）でも濃厚接触者の男子生徒1人ずつの感染が確認された。
救急振興財団・救急救命九州研修所（北九州市）教授で、北九州市危機管理参与の郡山一明氏は「日本小児科学会は『患者の中で小児が占める割合は少なく、ほとんどが家族内感染』との見解だが、本当に学校内で広がっていないのか調査、分析が必要。

学校では、マニュアルにそって対策をするしかないですね。